

令和5年度「広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業」成果報告書

広島市立大学

国際学部 講師 山平 芳美

【研究テーマ】

広島市及び広島広域都市圏における「スポーツを通じた国際交流」の開催及びイベントの検証

【活動の目的】

広島市の外国人人口は2015年と比べ26.6%（令和2年度国勢調査）増加した一方、広島市外国人市民の67.7%が「国際交流イベント」に参加していないことが課題に挙げられている。他方、日本の大学生の「内向き」が指摘されている。広島市立大学、広島大学、広島文化学園大学の3大学の学生が主体的なスポーツイベントの企画・運営を通じて、広島市及び広島広域都市圏在住の外国人と国際交流の機会を創出し、平和構築に貢献するとともに、参加学生について人材育成に貢献することを目的とする。

【参加学生】

広島市立大学	国際学部	3年10人・4年4人	
広島大学	教育学部	2年2人	
広島大学	総合科学部	1年2人	
広島文化学園大学	人間健康学部	3年2人・4年1人	合計21人

【連携地域団体】

JICA 中国

オタフクソース株式会社

株式会社やまだ屋

川中醤油株式会社

三島食品株式会社、

広島大学 教育学部健康スポーツ系

広島大学 総合科学部

広島文化学園大学 人間健康学部

【活動の内容】

6月～12月：運営担当学生スタッフ会議（各大学およびオンライン）

「スポーツを通じた国際交流」開催日が、12月3日（日）「国際障害者デー」のため、「国際障害者デー」に合わせてアダプテッドスポーツ種目をベースに、6月から11月にかけて検討が行われた。例えば、なないろサッカー、風船バレー（写真1）、ブラインドサッカー（写真2）、ゴールボール（写真3）、ボッチャなど複数のアダプテッドスポーツの種目を実際に学生スタッフで体験して検討が重ねられた。最終

的に12月3日(日)に行われるアダプテッドスポーツの種目として、第1回大会の種目の引き継ぎとして「シッティングバレー」、今年度新たに「ポッチャ」および「キンボール」が、運営担当3名の学生スタッフによって選択された。それぞれのアダプテッドスポーツ種目のルールを、性別、年齢、国籍などに関わらず実施できるように、運営担当3名の学生スタッフによって変更や工夫がなされた。



左から
写真1 風船バレー
写真2 ブラインドサッカー
写真3 ゴールボール

6月～10月：会場担当学生スタッフ会議（各大学およびオンライン）

2023年12月3日(日)に開催日を学生スタッフで決定し、「広島グリーンアリーナ」「広島県スポーツ会館」、広島市内の体育館として「東区スポーツセンター」「佐伯区スポーツセンター」「西区スポーツセンター」「グローバルリゾート総合スポーツセンター」「安佐南区スポーツセンター」を候補として挙げた。広島市の体育館は利用日の3ヶ月前に予約開始となるため、予約開始日に会場担当2名の学生スタッフが予約を行ったが、アクセス等の面で課題が残る「安佐南区スポーツセンター」のみの空き状況であった。したがって、より多くの外国人の方々や留学生が参加できるように、JICA 中国の協賛を経て、「ひろしま国際プラザ体育館」を予約する手続きとなった。

7月～12月：協賛担当（各大学およびオンライン）

学生スタッフによって全国の企業も複数候補が挙げられたが、広島県および広島市の企業等として、川中醤油株式会社、JT サンダーズ広島、アヲハタ株式会社、株式会社イズミ、株式会社エブリー、株式会社やまだ屋、オタフクソース株式会社、株式会社やま磯、株式会社前田屋、広島電鉄株式会社、中国新聞、株式会社フレスタ、広島銀行、もみじ銀行、株式会社モルテン、株式会社エディオン、三島食品株式会社、チチヤス株式会社、株式会社サンフレッチェ広島（順不同）などが候補として挙げられた。これらの候補に対して、協賛担当学生スタッフ3名によって各企業に趣旨説明や企画書などが送付された。最終的に、オタフクソース株式会社〔ヴィーガン仕様のお好みソース24本〕(写真4)、株式会社やまだ屋〔もみじ饅頭5種類×10個〕(写真5)、川中醤油株式会社〔8品〕(写真6)、三島食品株式会社〔赤しそ飲料60本〕(写真7)から協賛を得て、第2回「スポーツを通じた国際交流」を開催した。



左上
写真4 オタフクソース株式会社



右上
写真5 株式会社やまだ屋
左下
写真6 川中醤油株式会社
右下
写真7 三島食品株式会社

8月～12月：広報担当（各大学およびオンライン）

運営担当（アダプテッドスポーツ種目）、会場担当（ひろしま国際プラザ体育館）、協賛担当（協賛・スポンサー企業ロゴ）と連携をとりながら、「スポーツを通じた国際交流」のフライヤー日本語・英語版が作成された（写真8・写真9）。フライヤー日本語版 200 枚・英語版 400 枚がそれぞれ印刷され、各大学の運営スタッフ、協賛・スポンサー企業を中心に郵送され広報活動が行われた。また、「スポーツを通じた国際交流」Instagram でも広報や参加申込の活動を行った（写真9）。また、協賛の JICA 中国様より、「スポーツを通じた国際交流」に関するプレスリリースの手続きを行っていただいた。

日本語版 **英語版**

QRコード

↑お申込みはこちら↑

アクセス方法

無料シャトルバス

西条駅前バスのりば 6番乗り場
ひろしま国際プラザ着の無料シャトルバスがあります。

JRバス乃美尾, 国際大学, 広, 真駅方面

西条駅前バスのりば 7番乗り場
「水源地前」で下車→徒歩約15分
※広大西口、大池経由は水源地前を通りません。

※当日駐車場には限りがあります。

持ち物

- ・シューズ（外履きのシューズを拭いて使うことお控えください）
- ・運動のできる服装と着替え
- ・飲み物、着替え
- ・履き慣れた靴がお勧めです！

※その他注意事項
JICA中国のレストランはランチのみ(11:30-14:00)営業してあります。
(近隣にコンビニエンスストアはございませんのでご注意ください。)

種目

ポッチャ / シットティングバレ / もらう種は当日お楽しみ!

主催 「スポーツを通じた国際交流イベント」実行委員会
広島市立大学・広島大学・広島文化学園大学の学生14名が企画・運営しています。

後援 JICA中国

本イベントは、「広島市立大学 社会連携プロジェクト」および「令和5年度 広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業」の助成を受け実施しています。

お問い合わせ先
山平 秀美(広島市立大学)
E-mail: y.yamahira@hiroshima-cu.ac.jp

【お申込みは裏面へ!】
日時 2023年12月3日(日)
11:30~16:00
参加費 参加費 無料
参加費 無料
場所 ひろしま国際プラザ

国際交流スポーツフェスタ
in hiroshima

協賛 Otafuku やまだ屋 川中醤油株式会社 mishima

企画・運営 広島市立大学(学生7名)・広島大学(学生4名)・広島文化学園大学(学生3名)

写真7 フライヤー（日本語版）



写真8 フライヤー (英語版)



写真9 「スポーツを通じた国際交流」Instagram

2023年12月3日(日)「第2回国際交流スポーツフェスタ in Hiroshima」

2023年12月3日(日)「国際障害者デー」に開催された「第2回国際交流スポーツフェスタ in Hiroshima」では、3大学の学生が運営を行った。受付後(写真10)、日本語と英語を用いて開会式が行われ(写真11)、①ダンスを軸としたウォーミングアップ(写真12)、②キンボールを用いたアイスブレイク(写真13)、③「ボッチャ」、④「シッティングバレーボール」、⑤「キンボール」を6チームで実施し、最後に表彰及び閉会式を行った。



写真 10 受付の様子



写真 11 開会式の様子



写真 12 ウォーミングアップの様子



写真 13 アイスブレイク

1 種目目「ボッチャ」は、現在パラリンピック種目となっており、ジャックボールと呼ばれる的となるボールにどれだけ自チームのボールを近づけることができるかを競う競技である。運営する 3 大学の学生が「ボッチャ」について日本語と英語で競技の特性やルールの説明を行った (写真 14・15)。1 試合 2 エンド制で実施し、英語やジェスチャーなど活用しながら、各チームジャックボールに少しでも近づけようと頭脳戦が繰り広げられた (写真 16・17)。



写真 14・15 英語と日本語で「ボッチャ」について説明する様子



写真 16・17 「ボッチャ」の様子

2 種目目「シッティングバレーボール」は、“立たないバレー”として、床に臀部をつけた状態で行う競技が特徴で、パラリンピック種目になっている。運営する 3 大学の学生が「シッティングバレーボール」について日本語と英語で競技の特性やルールの説明を行った後、6 チームのリーグ戦が繰り広げられた。バレーボールの経験の有無に関わらず、サーブ、レシーブ、スパイク、ブロックとバレーボールで必要となる技術をゲームで実践する機会が自然につくられていた。また、参加者全員がバレーボールの経験の有無に関わらず楽しむことができおり、リーグ戦では接戦が繰り広げられた（写真 18・19・20・21）。



写真 18・19 「シッティングバレーボール」の様子



写真 20・21 「シッティングバレーボール」の様子

3 種目目「キンボール」は、3 チームで同時にプレーし、自チームがミスした場合、自チーム以外の 2 チームに得点が入るニュースポーツである。外国人や留学生のみならず日本人も初めて体験する種目となった。運営する 3 大学の学生が「キンボール」について日本語と英語で競技の特性やルールの説明を行った後（写真 22・23）、3 チーム毎に時間制で試合が行われた。英語で指示された色のチームがそれぞれボールを落とさないよう、各チーム内での連携や協力がみられた（写真 24・25）。



写真 22・23 英語と日本語で「キンボール」について説明する様子



写真 24・25 「キンボール」の様子

閉会式では、6チームの順位の発表及び表彰状授与に加え（写真 26・27）、広島県の協賛企業4社（オタフクソース株式会社、株式会社やまだ屋、川中醤油株式会社、三島食品株式会社）の協賛品を参加者に配布した（写真 28・29・30・31）。



写真 26・27 表彰状授与の様子



写真 28 オタフクソース株式会社 写真 29 株式会社やまだ屋



写真 30 川中醤油株式会社

写真 31 三島食品株式会社

当日の参加者は45名で、広島県内の学生や一般の参加者と広島県に在住の外国人や留学生がチームで互いに助け合い、言語が異なる中でもスポーツを通じたコミュニケーションと交流を図ることができた(写真32)。



写真32 「第2回国際交流スポーツフェスタ in Hiroshima」

12月～1月：本イベントの報告（メールや報告書郵送）

協賛・会場担当の学生を中心に、本イベントに協賛・後援していただいた、オタフクソース株式会社、株式会社やまだ屋、川中醤油株式会社、三島食品株式会社、JICA 中国、5社・1団体に報告を行った(写真33)。

<p style="text-align: center;">「スポーツを通じた国際交流イベント」実行委員会 協賛担当 北山真/武永正樹/森和香</p> <p style="text-align: center;">「国際交流スポーツフェスタ in Hiroshima」報告書</p> <p>1. 国際交流スポーツフェスタ in Hiroshima 活動概要</p> <p>本活動は、広島大学4名、広島市立大学3名、広島文化学園大学3名の8大学の有志によって運営されるスポーツを通じた国際交流イベントです。本活動は、広島県内の学生と広島県に在住の外国人や留学生を対象とし、国際交流のきっかけをつくることを目的としています。また、性別、年齢、障害の有無関係なく実施することができるアダプテッド・スポーツを通して、言語が異なる者同士のコミュニケーションツールとしてスポーツを活用し交流を図ります。本活動は、「広島市立大学社会連携プロジェクト」及び「広島県広島市国際地域人材育成支援事業」の助成を受けました。</p> <p>2. 協賛企業 オタフクソース「第2回国際交流スポーツフェスタ in Hiroshima」の参加者に配布</p> <p>3. 詳細報告 2023年12月3日(日)に「国際交流者デー」に開催された「第2回国際交流スポーツフェスタ in Hiroshima」では、「ポッチャ」、「シッティングバレーボール」、「キンボール」の3種目をチームで行いました。「ポッチャ」はパラリンピック種目でもあります。各チームジャックボールに近づけようと運動が繰り返されました。「シッティングバレーボール」は「立たないバレー」ということで、チーム内や各員が中心になる機会があり全員が楽しむことができる競技でした。また、「キンボール」では、多くの人が初めて経験する種目となりました。チームをわけてボールを落とさないようチーム内で連携が求められました。全体を通して、広島県内の学生と広島県に在住の外国人や留学生と社会人が合同のチームで互いに助け合い、言語が違ってもスポーツを通してコミュニケーションを図りました。参加者日本人の参加者から、「年齢関係なく楽しむことができた」といったコメントや、外国人や留学生から、「日本でのスポーツ活動が初めてで、人々を知り合ういい機会でも楽しかった」「全てのスポーツが初めてで、スポーツについて学ぶことができた」といった内容が聞かれました。本イベントを契機として、スポーツを通じた国際交流のさらなる発展につながることを期待しています。</p> <p>4. お礼 この度は、「国際交流スポーツフェスタ in Hiroshima」の活動にご協力いただき、ありがとうございます。また、お礼がいきなり届いたと驚かれた方もおられました。参加者に配布させていただきました。広島に来てくれた留学生の方をはじめいろんな人が集まられている方たちに、「このゾースはどうかやってみよう」「バズンで使えるのね!」といったオタフクソースを通じて「広島」を感じていただく機会となり、貴社から頂いた協賛品を通してさらに交流をすることができました。この度は、外国の方々に交流した機会を提供していただき本当にありがとうございました。多くの参加者が興味を持って参加することができました。今後も、「国際交流スポーツフェスタ in Hiroshima」では広島における国際交流スポーツイベントに連携してまいります。引き続き、「国際交流スポーツフェスタ in Hiroshima」をどうぞよろしくお願ひいたします。この度は、誠にありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">担当の様子や中国新聞及びJICA中国の記事は次のページ以降をご覧ください</p>	<p style="text-align: center;">ポッチャの様子</p> <p style="text-align: center;">シッティングバレーの様子</p> <p style="text-align: center;">キンボールの様子</p> <p style="text-align: center;">配布されたオタフクソース</p>
--	--

写真33 学生が作成した協賛・後援企業（団体）向け報告書

1. 大学連携による学生への効果

本事業は、広島市立大学、広島大学、広島文化学園大学の3大学の学生21名の連携によって全て企画・運営が行われた。この点は1つの大きな本事業の特徴である。広島県内の3大学の連携ではあったものの、学年や学部なども異なり、普段の学業に加え、クラブ・サークル活動もある様々な状況下において、学生がオンライン等を活用して、大学や学部また学年の垣根を超えた連携によって、企画・運営を実現されたものである。

3大学の連携による学生への効果として、3大学の学生へのインタビューから、主に以下の3点が挙げられる。

1. 3大学の学生と広島県内在住の外国人や留学生と他言やスポーツを通じた交流の場となったこと（写真34）。
2. 広島県内の他大学の学生と関わる機会となり、自ら進んで活動する良い機会になったこと（写真35）。
3. JICAとの関わりを通じて国際協力に興味を持つ学生が増えたことや広島県の企業との関わりを通じて企業に興味を持つ学生が増えたことや企業研究につながったこと。



写真34 外国人と学生の交流の様子 写真35 学生間の打ち合わせの様子

本事業の効果として「学生の国際感覚の涵養」や「良好な関係を構築する人材を育成」を目指していたが、前述した3大学の学生へのインタビューや3大学の学生による主体的な取り組みの活動の様子から、一定程度地域に貢献する人材の育成につながったと考えられる。

2. 外国人や留学生への効果

広島県内に在住している外国人や留学生、インド、インドネシア、カンボジア、キリバス、ナイジェリア、ベネズエラ、モーリシャス、ルワンダの8か国の参加がみられた。3大学の学生が、イベント後に外国人や留学生へ英語でインタビューを実施した。主に以下のような回答を得られた。

「日本でのスポーツ活動が初めてで、人々と知り合ういい機会でもとても楽しかった」（留学生A）

「全てのスポーツが初めてで、スポーツについて学ぶことができました」（留学生B）

「私の出身国にも日本のしょうゆみたいなものがあるけど、協賛でもらったオタフクソースやしょうゆを使ってみるのが楽しみです」（留学生C）

「It was my first experience involving in sport activities in Japan. It was a great opportunity for me to expose

to sport activities and got to know people. I had a lot of fun. The most important thing is that all the sports were new to me. I learned about sports. In short, the event was great. (日本でのスポーツ活動は初めての経験だった。スポーツ活動に触れ、人々と知り合ういい機会だった。とても楽しかった。最も重要なことは、すべてのスポーツが私にとって新しいものだったということです。スポーツについて学ぶことができました。要するに、このイベントは最高でした。)(留学生 D)

前述の通り、スポーツを通じた国際交流や協賛に対するポジティブな回答が得られた。本事業で期待される効果として「地域住民との共生が十分とはいえない広島市及び広島広域都市に在住する外国人や留学生に対して、社会参加の機会を創出する」ことを目指していたが、広島県内に在住している外国人や留学生への本イベント後の回答から、本事業によって外国人や留学生に対する効果が得られたと考えている。

3. 関連団体等への効果

まず、本イベントに後援していただいた JICA 中国様から、「国際交流」に高い壁を感じていた企業や団体にも「スポーツを通じた国際交流」を介して、「国際交流」を届けることができる可能性があるため、今後も「スポーツを通じた国際交流」他の団体との繋がりを創出することが可能ではないかといった効果を挙げていただいた。

次に、協賛企業に対する効果として、オタフクソース株式会社様がハラルお好みソースを作っていることに対する学生の学びや外国籍の参加者への好印象を与えたこと、株式会社やまだ屋様は広島のお土産品として広島県内でも数社みられるもみじ饅頭の中でも今後優先的に本イベントの参加者が購入していきこうという姿勢や実際の購買行動がみられたこと、川中醤油株式会社は近隣の学生が実際に醤油の購入に店舗に出向いたこと、三島食品株式会社が協賛品として提供されたゆかりドリンクを日本の参加が大変興味を持たれ実際に購入してみたいという声がきかれたこと、など協賛企業にも微力ながら本イベントによる効果がみられたと考えられる。

4. 関連団体と連携したことによる効果

本イベントに協賛・後援していただいた、オタフクソース株式会社、株式会社やまだ屋、川中醤油株式会社、三島食品株式会社、JICA 中国、5社・1団体と連携したこと、3大学の学生が連携して主体的に運営したことで、『中国新聞 (2023年12月4日) 朝刊』(写真36)、

『JICA 中国ニュース&メディア

<https://www.jica.go.jp/domestic/chugoku/information/topics/2023/2023_t80.html> (写真37)』、

『広島県 JICA デスク Facebook

<https://www.jica.go.jp/domestic/chugoku/information/topics/2023/2023_t80.html> (写真38)』に、本事業について掲載していただいた。

国超えスポーツの輪

東広島 学生ら3種目で交流



ポッチャで交流を深める参加者

国際障害者デーの3日、広島大と広島市立大、広島文化学園大の学生が運営する「国際交流スポーツフェスタ」が、東広島市鏡山のひろしま国際プラザの体育館であった。「ポッチャ」など3種目で交流を深めた。

白い球「ジャックボール」を狙い、赤と青の球を投げ合った。投げる位置や高さなどを英語でアドバイス。目標球に近づくこと、拍手やジェスチャーで喜びを表現し、歓声が会場に響いた。

シッティングバレー、キンボールにも挑戦。ルワンダ出身の広島大大学院1年ゲンダハヨ・テオドさん(36)は「スポーツは苦手だけれど、違う大

アフリカやアジアなど8カ国の外国人約20人と日本人約20人が参加した。ポッチャでは目標の

写真 36 中国新聞 (2023 年 12 月 4 日朝刊) 掲載記事

スポーツ×国際交流イベント開催！



2023.12.11

#トピックス #JICA中国

LANGUAGE



12月3日は国際障害者デー

12月3日はすべての人を包摂し、すべての人が参加できる社会がもたらす恩恵に焦点を当てることを目的に、国連総会にて「国際障害者デー」に制定されました。

そんな3日(日)、広島国際プラザの体育館では、スポーツ×国際交流のイベント「国際交流スポーツフェスタ in Hiroshima」が開催されました。

年齢・性別・国籍・障害に関わらず楽しむことができるスポーツを通して交流を深めるイベントとして開催され、行われた競技はポッチャ、シッティングバレー、キンボールの3競技です。

ポッチャはパラリンピックの正式種目にもなっており、ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤と青のボールをいかに近づけるかを競うスポーツで、陸上のカーリングと呼ばれています。最初はなかなかジャックボールに近づかなかったり通り過ぎたりと難しそうでしたが、チーム内でどう投げたら良いのかどこをめがけて投げるかなどを話し合っていくうちにどんどん上手に！

シッティングバレーは座った状態でのバレーボールで、こちらもパラリンピックの正式種目になっています。2種目になってくるとチーム内での声掛けも増えてきて、「任せた！」「はい！」など積極的に声を掛け合っている様子が見られ、笑い声も増えてきていました。

最終種目はキンボール！直径122cmの大きなボールを床に落とさないよう、チームで協力し合う競技で、他の2つの競技に比べて経験者が少なかったため、最初は恐る恐る競技をしている様子も。ですが、回数を重ねていくうちに競技スピードもあがっていき、走り回ってボールを追いかけ、外野からも応援が飛び交っていました。

写真 37 JICA 中国ニュース&メディア

< https://www.jica.go.jp/domestic/chugoku/information/topics/2023/2023_t80.html >



広島県 JICA デスク

12月7日 18:19

【スポーツ×国際交流】

12/3は国際障害者デーでした ✨

そんな3日(日)に「国際交流スポーツフェスタ in Hiroshima」が開催！

当日は広島県内に住んでいるインド、インドネシア、カンボジア、キリバス、ナイジェリア、ペネズエラ、モーリシャス、ルワンダ8カ国の留学生が参加し、日本人参加者を含め40名の方が、ポッチャ、シッティングバレー、キンボールの3種で汗を流しました 🏆

最初は緊張しながらコミュニケーションをとっている様子が見られましたが、競技が進むにつれ体も心もほぐれてきてハイタッチや英語や日本語で声掛けをする姿も！

留学生の皆さんも「交流する良い機会楽しかった」と笑顔で教えてくれました。

本イベントは年齢・性別・国籍・障害に関わらず交流することを目的に、広島市立大学、広島大学、広島文化学園大学の学生がメインで企画して開催されました。

来年も開催予定のようなので、気になる方は来年をお楽しみに！



写真 38 広島県 JICA デスク Facebook

<<https://www.facebook.com/jicahiroshimakendesk/posts/pfbid02g699LcJ4iPzgm2cqMGBcsepXZB8eaTggisZ3CrqzmFvDH54QLJ6KgdRZ5PSeGcrhl>>